

教育委員意見交換会

日時 令和8年3月27日（金曜） 午前11時34分～午後0時30分

場所 堺市役所 本館3階大会議室第3会議室

出席者 関百合子教育長 豊岡敬委員 新谷奈津子委員 長田翼委員 大内秀之委員 中村善彦委員

（事務局） 北野雅史教委総務部長

守谷奈津美教職員人事部長

宇野敬子教職員企画課長

中井忠学校教育部部理事

松本展典学校保健体育課長

橋本宏司学校改革推進室長

百田真也教育センター参事

尾下英夫能力開発課長

石崎典和学芸課長

十河良和学芸課参事

居谷達矢教育政策課長

杉本篤史教育政策課課長補佐

楠本奈央子教育政策課企画係長

案件

- ・堺市立学校職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- ・（仮称）堺ミュージアム基本構想（案）について
- ・令和7年度中学生チャレンジテスト（1・2年生）の結果について
- ・堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の策定について
- ・「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について
- ・堺が進める「新たな学校のあり方」～令和7年度の振り返り～
- ・その他非公開案件1件

・堺市立学校職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

部活動指導業務に係る教員特殊業務手当について、義務教育費国庫負担金の最高限度が改定されたことに伴う、条例の一部改正について説明。

（主な意見）

- ・ 特になし。

・（仮称）堺ミュージアム基本構想（案）について

堺ミュージアム基本構想（案）を策定したため、その概要について報告。

（主な意見）

- ・ 建物についてバリアフリーな施設整備について明記されていて安心しているが、完成後にバリアフリー面での課題が指摘されることがないように、設計段階から多様な当事者から意見を聴取して整備を進めてほしい。
- 今後、基本計画及び設計業務の段階において、利用者や当事者の声を十分に反映できるよう進めていきたい。
- ・ 現在パブリックコメントを募集しているとのことだが、どのような媒体を通じて、どの層を対象に、どこで公表・周知して意見を集めているのか。
- パブリックコメントにおける資料は、市役所の市政情報センター及び区役所の市政情報コーナー、各図書館、博物館で閲覧可能としている。意見の提出方法については、書面及びインターネットから提出できる電子申請システム

等、幅広く意見を収集できるようにしている。

- ・ パブリックコメントの周知媒体について、LINE などのツールを活用すると、より意見を出しやすくなるのではないかと思う。
 - ・ 基本理念 5 にある「展示や体験を通して社会課題と向き合う」ということについて説明していただきたい。
- 博物館の利用者は従来、市民が中心であったが、近年はグローバル化の進展により外国人来館者も増加している。また、地域住民が地域の歴史を学び、それを地域活動や課題解決に活かすなど、博物館の利用方法や要望が多様化している。こうした新たなニーズや要望に対応し、地域の課題解決に活用される博物館となることをめざして取組を進めるため、この基本理念を設けた。
- ・ 社会課題とは具体的にどのようなものがあるのか。
- 博物館の利用者にはインバウンド客だけでなく定住外国人も増えており、堺市の歴史を学び、地域の人々と暮らしていくことも社会環境の変化として捉えている。こうした状況を踏まえ、「すべての人が学びの機会を享受できるユニバーサルミュージアム」を活動方針とし、これまで来館の少なかった層も含め、展示や体験活動、ワークショップ等を通じて、歴史文化だけでなく地域への理解を深めてもらえるよう取組を進めていきたい。
- ・ 概要版をパブリックコメントに提示するのか。
- パブリックコメントについては、概要版、本編、資料編を提示している。
- ・ 計画書の記載について、基本理念と具体的施策との関係性が分かりにくいと感じた。具体的に何を行うのかが本文上で明確につながっておらず、関連する内容が別の項目に分散しているため、読者が理解しづらい構成となっている。また、活動方針（1～10）についても、どの基本理念に基づくものかの対応関係が分かりにくいいため、整理・可視化することで、より分かりやすい内容になるのではないかと思う。
- 基本理念 5 にある「展示や体験を通して社会課題と向き合う」については、多様な意見を踏まえて活動方針や想定する取組を策定してきたが、基本理念と具体的取組との関連性について、今後、基本計画を策定する中で整理し直して分かりやすく示していきたい。

・令和 7 年度中学生チャレンジテスト（1・2 年生）の結果について

令和 8 年 1 月 14 日に実施した「令和 7 年度 中学生チャレンジテスト（1・2 年生）」の結果について報告。

（主な意見）

- ・ アンケート結果については大阪府との比較が示されているが、堺市としての経年変化による傾向分析は行っているのか。同一の設問を用いているのであれば、過去から現在にかけて堺市がどの程度向上しているのかといった経年的な変化を把握し、そのような観点から堺市の課題を見つけていくべきだと思う。また、地域性が大きく異なる府内市町村を一律に比較することが妥当なのか疑問がある。堺市と性質の近い自治体との比較であれば一定の理解は得られるが、府平均との比較だけでは実態が見えにくいと思う。また、他自治体との比較以上に、堺市として取り組んできた施策が経年的にどの程度成果を上げているのかを把握することが重要であると思う。
 - ・ チャレンジテストの得点分布に関して、右偏・左偏・平坦化するなど学力層の分別がうまくできていないように思う。理想的なベルカーブから徐々に離れていっている印象があり、テストの信頼性への懸念も感じているが、テストの内容については、「なぜこの問題が解けなかったのか」と丁寧に見て、取組の方針を考えるのがいいのではないかと思う。
- アンケート調査結果については、今年度は質問項目によっては、示し方を変更したことにより、この資料からは、昨年度との経年変化を単純に比較することが難しい。一方で、前年度と比較可能な項目もある。いただいた意見を今後の分析に生かしていきたいと考えている。

・堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の策定について

堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の作成及び取組の進捗について報告。

(主な意見)

- ・ 特になし。

・「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

スポーツ庁から「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について、情報提供があったため、その概要について報告。

(主な意見)

- ・ 特になし。

・堺が進める「新たな学校のあり方」～令和7年度の振り返り～

全中学校区に展開する初年度であった令和7年度の新たな学校のあり方の取組状況について報告。

(主な意見)

- ・ 現場の教員や校長が感じる納得感・実感が最も重要な鍵になる。良かった点と課題点の双方を丁寧に振り返り、特に課題である点については今後の新たな取組につなげていくことが重要であるため、引き続き現場からの意見聴取を行ってほしい。